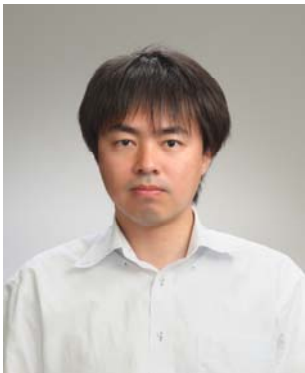


## バイオマス活用アドバイザー プロフィールシート

	<b>【名前】</b> 藤科 智海
	<b>【現職（所属）】</b> 山形大学農学部
<b>【略歴】</b> 2005年3月 岩手大学大学院連合農学研究科博士課程 修了 博士（農学） 農村地域における維持可能な循環型社会形成に関する研究を行う。 2005年8月～2011年3月 社団法人食品需給研究センター 調査研究部 研究員 ①食品リサイクル、食品残渣の堆肥化・飼料化に関する調査研究、②食料産業クラスター、6次産業化等、食を通じた地域活性化の取組支援を行う。 2011年4月～ 山形大学農学部 准教授 食農環境マネジメント学コースの教員として、食農環境政策学や食農環境システム論を担当。6次産業化のビジネススクールの講師なども社会活動として実施。	
<b>【得意分野】</b> 食品残渣の堆肥化・飼料化 リサイクルループ 地域資源循環システム 地域活性化 6次産業化	
<b>【バイオマス利活用に関する取組・一言コメント】</b> バイオマス利活用を通じて、地域活性化に繋がるような活動を支援したいと思っています。単に一事業者の取組として進めるのではなく、地域の関係者が様々な繋がりを持ちながら、地域の貴重な資源を循環利用していく仕組みを構築することが重要だと考えています。 ここ東北は、2011年3月、大震災・津波そして原発被害に見舞われました。被害に遭われた方には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、東北にある大学として、何かやらなければと思っています。このたびの大震災では、人材、物資、資金を大都市圏に集中する東京一極集中型の社会システムの脆弱さが露呈しました。これからは、極度の一極集中を排した自立分散型の社会システムが必要だと考えています。地域における未利用バイオマスを利活用することで、自立分散型の社会システムの構築に繋げることができればと思います。	